

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	バングラデシュ人民共和国
2. 案件名	郡と NGO 連携による地域住民参画の持続可能な学校給食普及の仕組みづくり
3. 事業の背景と必要性	バングラデシュ農村の貧困地域の子供たちの栄養不足、成長不良解消を目指し、学校、保護者、住民、NGO が協働支援して住民参画の持続可能な学校給食モデルを構築した。本事業では初等大衆教育省の指示するメニューに従って住民参画の学校給食を行い、郡教育事務所と NGO が連携して住民参画の持続可能な学校給食を実施・管理する仕組みを整え、多くの児童の栄養改善、教育環境向上、地域の健康意識向上を図る。
4. プロジェクト目標	郡と NGO と住民が連携・協働し、郡内に普及できる学校給食の仕組みを確立する
5. 対象地域	ジョソール県シャシャ郡
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	学校給食実施校児童 (3 校 600 人)、学校関係者・保護者と地域住民 合計 7000 人
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 郡と NGO が学校給食普及のための各役割を明確化し、郡内の学校給食事業を実施・管理できている 郡と NGO 協働で郡内 3 校の学校・学校運営委員会 (SMC)・地域住民に働きかけ、地域住民参画の学校給食事業を実施継続している 初等大衆教育省に、「地域住民参画の学校給食」の栄養的・教育的効果、地域住民への波及効果の意義が伝わっている <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 郡と JBCEA 協働で、学校給食普及計画の策定、役割の明確化、普及校選定、モニタリング・指導の仕組みを作り、学校給食の運営・管理を行う。 普及校の学校・学校運営委員会を指導し、必要な設備を確保し、住民参加の学校給食の運営・実施。母親グループを組織し、健康教育ワークショップ、イベント実施で地域の理解と協力を促進する。 初等大衆教育省に定期的に面会し、情報収集を行い「地域住民参画学校給食」の意義を説明する。県知事・教育事務所に活動報告を行う。
8. 実施期間	(西暦) 2022 年 11 月～ 2025 年 10 月 (3 年)
9. 事業費概算額	25,797 千円
10. 現地カウンターパート	JBCEA バングラデシュ Japan-Bangladesh Cultural Exchange Association Bangladesh
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	日本・バングラデシュ文化交流会
2. 活動内容	現地支援事業①学校給食プログラム②大豆栽培・普及プログラム③刺しゅう製品製作販売プログラムと国内の文化交流、広報啓発事業